

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8249
担当部課名	都市部	都市交通計画	課	交通計画
事務事業名	交通バリアフリー基本構想策定事業(委託料)		事業コード	33131

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	利便性の高い公共交通網の確立をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	利便性の高い公共交通網の確立	13年度
施策名	第3施策	人にやさしい交通環境の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律

3 事業概要

(1) 事業の目的 「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」いわゆる「交通バリアフリー法」が平成12年11月に施行され、市町村が一定規模の旅客施設を中心とした地区において旅客施設、道路等のバリアフリー化を重点的・一体的に推進するため基本構想を作成できることとなった。本市においても、バリアフリー化を推進するため基本構想を策定していく。	(2) 対象(誰、何) 相模原市内の全ての駅 対象数 全市民
(3) 平成13年度事業の内容 ・交通バリアフリー基本構想策定調査 基本構想策定懇話会 全3回 (委託料 2,551千円) ・バリアフリーマップ作成委託 (委託料 1,522千円)	(4) 総合計画・実施計画における概要 駅利用者の利便性、安全性の確保や鉄道とバス・タクシー等との円滑な連絡を図るため、橋本駅北口、淵野辺駅北口などに駅前広場の整備を進めるとともに、障害者や高齢者等に配慮し、駅エレベーター等の整備を促進します。 (5) 個別計画の概要 計画名 計画年次 年度~ 年度

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a	b	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額		4,074	4,148	
	人員・時間数		2人	2人	
	人件費		16,840	16,840	
	その他経費		0	0	
合計	0	0	20,914	20,988	0
特定財源			0	0	

6 個別評価

(1) 達成度…目標をどれだけ達成したか

評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	
$\frac{a}{b} \times 100 =$		$\frac{c}{d} \times 100 =$
		$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :	調査内容についての成果は十分得られ、目標を達成している。(調査内容は委託契約で定められている)	

(2) 必要性…時代変化に適応した事業内容か

評価 A ▼	A : 適応している	理由 : 平成12年11月に交通バリアフリー法が施行され、旅客施設を中心とした地区において、旅客施設、道路等のバリアフリー化を推進していくため、基本構想を策定する必要がある。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3) 経済性・効率性…費用対効果は妥当か

評価 A ▼	A : 妥当である	理由 : 専門的知識・技術を要する調査であり、要求する成果は十分得ることができた。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4) 事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か

評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 : 法律により、市町村が基本構想を作成することとなっている。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5) 市民満足度…対象市民の満足は得られているか

評価 A ▼	A : 満足できる	理由 : ワークショップ等により市民意見を取り入れながら、基本構想の策定ができた。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6) 有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か

評価 A ▼	A : 有効である	理由 : 人にやさしい交通環境の整備の実現のため、また、旅客施設を中心とした道路等のバリアフリー化の推進のため基本構想の策定は必要である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 相模大野駅周辺だけでなく、他の駅についても重点整備地区、特定経路等設定していく必要がある。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : なし</p>

7 総合評価

評価 AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	他自治体とは鉄道駅の数が違うので一概には言えない。また、県内最初の基本構想であるため、比較は難しい。
		説明
今後の進め方		今回の基本構想では相模大野駅周辺地区を重点整備地区とし、特定経路を設定した。今後は、市内の他の駅について重点整備地区、特定経路を設定して、バリアフリー化を推進していく必要がある。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了	

8 二次評価における変更点

--